

令和 3 年浦安市教育委員会第 7 回定例会会議録

浦安市教育委員会

令和3年浦安市教育委員会第7回定例会

- I. 日 時 令和3年7月1日(木)  
開 会 午後3時00分  
閉 会 午後3時35分
- I. 場 所 中央図書館2階 視聴覚室
- I. 進 行 教 育 長 鈴木 忠 吉
- I. 出席委員 教育長職務代理者 宮 道 力  
委 員 宮 澤 ミシェル  
委 員 吉 野 則 子  
委 員 影 山 純 二
- I. 出席説明者 教 育 総 務 部 長 醍 醐 恵 二  
教 育 総 務 部 次 長 高 柳 幸 志  
教育総務部副参事(教育総務課長) 榎 伸 一  
指 導 課 長 長 野 栄 一  
千鳥学校給食センター  
第一・第二・第三調理場所長 平 林 俊 明  
生涯学習部長 金 子 吉 直  
生涯学習部次長 森 田 和 徳  
生涯学習課長 土 久 菜 穂  
高洲公民館長 北 嶋 純 代
- I. 傍 聴 人 1名
- I. 案 件  
第1. 会議録の承認

1. 令和3年浦安市教育委員会第5回定例会会議録の承認について

第2. 教育長からの一般報告

第3. 審議事項

議案第1号 浦安市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について

議案第2号 浦安市教育委員会の権限に属する事務の補助執行等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について

第4. 協議事項

第5. 報告事項

1. 教育委員会共催・後援行事一覧

2. 令和2年度の寄附の受け入れ状況について

3. 専決処分の報告について

4. 令和3年度浦安市児童生徒科学作品展実施について

5. 令和3年度教育実践事例発表会実施計画

6. 令和3年度第41回浦安市小・中学校音楽鑑賞教室実施報告

7. 令和3年度千葉県小中学校体育連盟市川・浦安支部中学校総合体育大会開催案内

8. 第40回浦安市小学校陸上競技大会実施結果

9. 令和3年度夏休み学校給食センター見学会開催案内

10. うらやす弦楽器体験会2021開催案内

11. 第5回浦安市写真展開催案内

12. 令和3年度第1回公民館運営審議会会議報告

第6. 教育委員からの一般報告

第7. その他

開 会 (午後 3 時00分)

鈴木教育長 これより令和3年浦安市教育委員会第7回定例会を始める。  
それでは、議事に入る。議事の第1. 会議録の承認である。  
令和3年浦安市教育委員会第5回定例会会議録について承認いただけるか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、令和3年浦安市教育委員会第5回定例会会議録については承認された。

なお、会議録の承認に当たり、会議録の署名を影山委員にお願いする。

次に、議事の第2. 教育長からの一般報告に移る。私から報告する。

初めに、八街市での児童5人が死傷した交通事故についてである。6月28日の午後、下校中の市立朝陽小学校の児童の列にトラックが突っ込み、男女児童5名が死傷した事故は、学校関係者に深い悲しみと、そして、飲酒運転が原因だったことに強い怒りと憤りを感じずにはいられない。元気に登校していった我が子が交通事故に遭い、帰らぬ人となった親の気持ちを思うと、いたたまれない気持ちである。

本市でも、ここ最近、教職員や児童生徒の交通事故が多発している。幸い大きなけがには至っていないが、ひき逃げされた事故も1件あった。そういう意味では油断してはいけない状況である。いくら本人が気をつけていても、交通事故は起きるものであるということを認識し、改めて今後の事故予防対策に気を引き締めて取り組まなければならないと強く思っているところである。

事故があった一昨日に、教育委員会から各学校長宛てに注意喚起を発出したところであるが、本日、市長のほうからも、通学路を含む交通安全点検について、教育委員会、市民経済部及び都市整備部の関係部署で至急再

点検するよう指示が出された。来週前半には教頭先生方と現地調査に入る予定となっている。あわせて、来週の校長会議で、具体的な通知等を示しながら夏季休業前の指導に生かすよう伝えていきたいと思っている。

続いて、東京オリンピック・パラリンピックにおける学校連携観戦チケットの取扱いについてである。本市には、令和元年度の時点で、全小中学校 26 校に 2,400 枚のチケットの割当てがあった。6 月議会では、教育総務部長より、次のように答弁したところである。

「児童生徒が世界トップレベルのアスリートの躍動を目の当たりにする貴重な機会でもあることから、校長会とも相談の上、感染症対策を徹底し、保護者や児童生徒の希望を聞いた上で観戦する機会を提供したいと考えている。なお、今後も感染状況や国・県の動向を注視し、中止もやむを得ないものと考えている。」

その後、校長会に再度、意向を確認の上、中止も含め現在協議中であり、正式には市の新型コロナウイルス感染症対策本部で決めたいと考えていることを伝えてある。現状では、中止の自治体も多くなっており、また、最近の新規感染者数の増加あるいは感染力の強い変異株も増えているようなので、厳しい状況であると考えている。

次に、教科書展示会についてである。6 月 11 日から 6 月 30 日まで、市役所 1 階市民ホールにて開催され、延べ参観人数は 464 名となった。昨年度は、市民ホールが展示場所として使えず指導課前の廊下で開催したので比較の対象にならないが、一昨年度は、同じ市民ホールで 198 人の参観人数だった。市民の声としては、場所がよかった、あるいは日曜開庁日にも気軽に立ち寄れたという声が多かったようである。

次に、学校訪問についてである。昨年度、全て中止となった千葉県教育庁葛南教育事務所による所長訪問、校長室訪問、指導室訪問が始まった。感染症対策を徹底した上で、訪問者は例年の半数の人数とし、また、子ども達の間机間巡視もしない、作品にも触れないというような、かなり細かな指示が出された中で実施されている。訪問する指導主事も、昨年度は学校の校内研究に個別で要請されただけだったので、教育委員会の職員にとっても、学校現場の先生方の学習指導の場面や、あるいは子ども達の活

動の場面が見られたので、指導主事本来の業務が遂行できる喜びがあると思っている。

次に、郷土博物館についてである。今年度、新規事業でジュニア学芸員講座を開いている。小学校4年生から中学校3年生を対象に募集を行い、40名の定員のところ、20名も断るぐらいの人気だったそうである。先週、第1回目の講座を視察したところ、参加した子ども達は興味関心が高く、よく勉強している子どもが多かった。疑問を投げかけたり、学芸員の質問にすぐに答えたりと、頼もしく感じた。

この事業には目的が3つあり、1つはふるさと浦安への理解を深め、郷土愛を育むこと、2つ目はコミュニケーション能力の向上を図ること、3つ目はジュニア学芸員の活動を通して将来にわたる博物館ボランティアを育成することである。本市の子ども達は、就学前に博物館で昔遊びや体験イベントに参加している。また、学童期の3、4年生では「わたしたちの浦安」を学習する。高学年になると、三番瀬や境川の環境学習、あるいは、古代史の学習の中で、火起こしの体験なども郷土博物館で行っている。まさに郷土愛を育む学習を実践している。また、夏休みのふるさと浦安作品展では、自分が調べたいテーマについて、様々な角度から、工夫した手法を使って、個性あふれる研究をしてくれている。このジュニア学芸員講座の事業は、それぞれの発展事業として、今年度、博物館で学芸員ジュニア版ということで企画した。学校教育を土台として、社会教育の分野でさらに伸ばしたいと考えている。将来的には、ここで育った子ども達が博物館ボランティアあるいはもやいの会の2世、3世になることを期待している。

最後に、教職員のワクチン接種についてである。現在、この7月、8月の夏季休業中に、市内の県立高校や私立高校を含めて、学校教育に携わっている関係者にワクチン接種を行う計画を立てている。自治体規模では初めての試みではないかなと思っているが、少なくとも県下では本市が最も早い計画であると思っている。市長からは、先生方がワクチン接種を受けることで、子ども達や保護者にも安心して2学期が迎えられるようにと早い時期から指示があったので、市長部局のみならず、教育総務部内にプロ

ジェクトチームを立ち上げて計画しているところである。ただ、ワクチンそのものが予定どおり届かない可能性がある状況なので、その結果待ちであるが、いずれにしても、早い段階でワクチン接種を先生方に施したいと思っている。

以上、私からの一般報告とさせていただきます。

次に、議事の第3. 審議事項に移る。

議案第1号 浦安市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定についてを議題とする。

事務局より説明を求める。

醍醐教育総務部長 議案第1号 浦安市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について、提案理由を説明する。

本案は、浦安市教育委員会事務決裁規程の専決事項の見直しに伴い、所要の改正を行うものである。それでは、議案第1号の参考資料を御覧いただきたい。

向かって右側が改正前、向かって左側が改正後になる。この改正前の表の中、17にある「一般職に属する臨時的任用職員及び非常勤職員」を「会計年度任用職員」に改めるものである。

なお、この改正は公示の日から施行するものである。

説明は以上である。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第1号についての質疑を行う。

文言の訂正ということであるが、よろしいか。

それでは、議案第1号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議案第1号 浦安市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令の制定については承認された。

次に、議案第2号 浦安市教育委員会の権限に属する事務の補助執行等に関する規程の一部を改正する訓令の制定についてを議題とする。

事務局より説明を求める。

醍醐教育総務部長 議案第2号 浦安市教育委員会の権限に属する事務の補助執行等に関する規程の一部を改正する訓令の制定について、提案理由を説明する。

本案は、浦安市教育委員会の権限に属する事務の補助執行等に関する規程の専決事項の見直しに伴い、所要の改正を行うものである。それでは、議案第2号の参考資料を御覧いただきたい。

先ほどと同様に、向かって右側が改正前、左側が改正後である。15の「幼稚園の教職員等に係る臨時的任用職員及び非常勤職員」を、「幼稚園の教職員等に係る会計年度任用職員」に改めるものである。

なお、この改正は公示の日から施行するものである。

説明は以上である。

鈴木教育長 ただいま説明がなされた議案第2号についての質疑を行う。

こちらも議案第1号と同じ文言の整理なのでよろしいか。

それでは、これより議案第2号の採決を行う。

議案第2号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

鈴木教育長 異議がないので、議案第2号 浦安市教育委員会の権限に属する事務の補助執行等に関する規程の一部を改正する訓令の制定については承認された。

次に、議事の第4. 協議事項に移るが、本日の上程はない。

次に、議事の第5. 報告事項に移る。

報告事項については、お配りした資料をもって報告とさせていただきます。

それでは、第5. 報告事項12件に対する質問を受け付けるが、一つ私の



ほうからよろしいか。5ページの教育委員会共催・後援行事一覧の2番、バロック×モダンアンサンブルの人数が120名になっているが、コンサートホールの大きさによるものなのか、何か規定によるものなのか。

土久生涯学習課長 この件については、後援の話をいただいた時期が、まだ、まん延防止等で、ホールが定員までというのがなかった時期である。それに加えて、当日集まれる人数ということで設定されたと考えている。

鈴木教育長 クラシック等については、現在、満席でもよいのか。

土久生涯学習課長 現在の規定では、満席でもできるようになっている。

鈴木教育長 満席でもよいということである。そういう意味では、5番のミュージカルも、満席でいいということなので、人数が1,200名となっている。

委 員 員 同じく5ページであるが、eスポーツについての趣旨・内容等が読んでいて、違和感があると思った。

鈴木教育長 場所はどこでやるのか。

金子生涯学習部長 オンラインでの開催である。

委 員 員 ここにある「必要な能力」とは何なのか。もう少し丁寧に書いたほうがいいと思う。

鈴木教育長 もう少し説明できるか。

金子生涯学習部長 こちらの趣旨については、主催者側の見解であるので、教育委員会としてはコメントできないところである。主催者がこの考えの下、開催するということである。

鈴木教育長　　これは毎年行っているものなのか。

金子生涯学習部長　　そのとおりである。以前、オリエンタルランド社の施設である舞浜アンフィシアターでも開催されたことがある。

鈴木教育長　　そのときは全国高校選手権であった。eスポーツというのは、これからアジアオリンピックの競技種目になる。プロがいて、数億稼ぐ子もいる。私立の学校では部活動もある。  
ほかにどうか。

委　　員　　17 ページの教育実践事例発表会を計画されているということで、ぜひ先生方の知見や日頃の成果を発表いただいて、いいものを残して、それを広げていっていただけたらよいと思った。

あとは、今回の報告等で、スポーツの大会や音楽鑑賞の教室など、いろいろと報告いただいているが、このような状況の中で、できる限り子どもの活躍の場を作ろうと努力されていることが伝わってきた。

鈴木教育長　　報告の中にある小学校の陸上大会や中学校の総体などは、昨年開催できなかった。子ども達の活動の場を少しでも保障するというところで、いろいろなところで努力していただいているところである。

27 ページの夏休みの学校給食センターの見学会については、例年と開催方法を変えているのか。

平林千鳥学校給食センター所長　　夏休みの学校給食センター見学会については、給食センターの見学と食育事業は今年も行う予定であるが、給食の試食会は中止にして、給食の調理の模擬体験を行う。

鈴木教育長　　例年、試食会を楽しみにして来る人が多かったのですが、試食会がなくても参加者が集まるかどうか心配である。

平林千鳥学校給食センター所長 例年は70名の募集であるが、感染症対策ということで今年は30名と半分程度にしている。本日から募集しているが、既に3件の申込みが入っている。

鈴木教育長 試食会はできないけれども、開催することが大事だと思う。  
29ページの青少年文化・芸術支援事業のうらやす弦楽器体験会についてであるが、これは毎年、参加人数が多い割には、あまり弦楽器がないということで、楽器を増やすことができないかとか、やり方を変えられないかというご意見を皆様のほうからもいただいた。今年、工夫した点はあるのか。

土久生涯学習課長 うらやす弦楽器体験会については、毎年、初心者の応募が非常に多く、希望してもお応えできない状況が続いていた。それを踏まえ、今年度は初心者クラスを2クラス設定することにして、これまでの倍の方が参加できるようにした。一方、これまで経験者クラスというのを設定していたが、経験者クラスは参加人数が少ないことやユースオーケストラに所属している子ども達が多かったので、そちらで教えていただくような形で今年は設定した。

鈴木教育長 今年は初心者の人を中心に行うということである。  
最後に発表会を行うが、初心者だけで大丈夫か。

土久生涯学習課長 去年の発表会を聴きに行ったが、初心者らしいところはあるが、きちんと曲を弾けており、心を打つぐらい上手になっていたので、今年も大丈夫だと期待している。

鈴木教育長 やりたいという子どもが多いのは、すばらしいことだと思う。これは、浦安の子ども達の特徴である。

33ページの公運審の会議報告であるが、公運審の委員の皆様には、大変

貴重な意見をいつもいただいている。昨年度末のときに、現在、このような状況なので、オンラインによる主催事業を増やしてほしいという意見があった。オンラインができるようになったら、公民館同士を結んでの事業が開催できるのではないかと考えているが、今年、そのような取り組みというのはあるのか。

北嶋高洲公民館長 先月、公運審で審議した7月から9月までの事業については、夏休みの子ども達に参加できるようなものを主とした。10月以降については、現在、ワーキングにて見直しを行っており、今後もオンラインによる主催事業に取り組んでいきたいと考えている。

鈴木教育長 新しい生活様式の中で、公民館の活動もそれに合わせて変えていけたらよいと思っている。

それでは、議事の第6．教育委員からの一般報告に移る。委員の皆様から近況報告等をお願いしたい。

委員 先日、青少年自立支援未来塾を見学させてもらった。生徒たちが楽しそうに、一生懸命やっていて、素晴らしい取り組みだと感じた。教えるほうもかなりフレッシュで、まだ2回目ということだったので、見ていて、少しどきどきしていた部分もあったが、これから上手になっていただくということで、ぜひ今後ともこの事業を充実させていただきたい。

なお、教えている方と話をしたら、レベルがいろいろなので、そこが難しいという話をしていた。

もう1点、八街の交通事故の件であるが、私の学区のところで、自分の自宅から学校へ行くと、どのような道を通るのかを確認したところ、歩道はあるが、ガードレールがないところがあった。これは車が出るところもあるので仕方ない部分もある。あと、道を渡るときに、横断歩道がない場所が1か所あったり、鉄鋼団地の近くなので、その車両が入ったりしている。浦安市は、比較的恵まれているほうだと思うが、問題もあるということを見ると、何か対応しないといけないと感じたところである。

個人的に、海外に行ったときに思ったことであるが、歩道と車道というのはしっかり分かれている。日本の町並みは、それがないところがかかり多い。それはかなり危ない気がするので、今後、歩道を整備していただくことをぜひお願いできればと思う。

鈴木教育長 来週から、保健体育安全課の通学路担当者と市民経済部市民安全課、それから道路担当の道路管理課と一緒に、教頭にも来てもらって、今一度、学校現場の再点検を行う。信号の設置の問題やカーブミラーなど施設的な部分もあると思うが、事故現場の八街の通りは、本当に悪い条件が重なっていた。

委員 あそこを通学路として使っていること自体に問題があったと思う。

鈴木教育長 新聞では、他の道も検討したけれども、逆に防犯上危ないということもあったようである。日本全国、同じようなところが多くあると思う。

委員 ただ、そこはやはり考え方を改めて、歩道はしっかり整備すべきだと思う。少なくとも通学路ぐらひは、ぜひお願いできればと思う。

委員 自分も小学校3年のときに交通事故の経験をしているが、田舎のほうは、歩道と車道の間仕切りが何もない。まだまだいっぱい見落とされているところがあると思うし、運転していても危ないと思うところもある。

鈴木教育長 吉野委員、ワクチン接種の進み具合などはどうか。

委員 高齢者のワクチン接種は進んでいる。学生にも早くやってあげていいと思う。

鈴木教育長 宮道委員、岡山のほうのワクチン接種や大学の状況はどうか。

委員 岡山のほうは、全国的に見てワクチン接種が進んでいるようである。大学では7月9日から、ワクチン接種を予定しているが、ワクチン自体がどうなるのか分からないところもあるので、様子を見ているところである。

岡山の話ではないが、私のほうから4つほど、お話しさせていただければと思う。

まず1つ目は、先ほどの通学路の事故の件についてであるが、こういうことを契機に、PTAや保護者の皆さん、地域の方と一緒に何か活動することを考えてみてもいいと思う。

2つ目は、これは吉野先生のほうが実感されていることかもしれないが、コロナになって、去年と今年で違うところの一つとして、コロナはみんな気をつけるけれども、今年は何か他の感染症が、去年に比べたら増えてきているような話を聞く。手指の消毒などを学校、家庭を含めて協力して徹底させていくことも重要であると思っている。

3つ目は、メンタルヘルスの問題である。親もそうであるが、子どもも少しふさぎ込みがちになることが増えているような話を聞く。例えばであるが、浦安市の学校にはスクールライフカウンセラーや養護の先生がいるので、その辺りが中心になって、学校の中でのケアやキャンペーンなどを考えて、朝登校したときにみんなでストレッチをするなどの取り組みをやってみるのもいいのではないかと思った。

4つ目は、このような環境が続いていて、母子家庭の状況などが非常に気になっている。正規で雇用されている方、非正規で雇用されている方がいると思うが、非正規雇用の方は、かなり雇い止めとかも出てきている状況があって、その辺りのケアが必要ではないかと思っている。要は、子どもがきちんと食事を取れているかどうかとかということにもつながってくると思っている。日頃からされていると思うが、ぜひ担任の先生方にはそういったところも改めてケアをしていただいて、気持ちよく夏休みに入って2学期に進めるようなことをお考えいただけるとよいかと思っている。

鈴木教育長 今お話しされた3点目のメンタルヘルスの件については、私も学校訪問

に行ったときに、子ども達が何かささくれ立ってきたのではないかと感じていた。ちょっとした言動の違いで手が出てしまうというのが、この5月ぐらいの生徒指導報告で少し見受けられた。対処療法については学校の体制でしっかりやれるようになってきたので、今後は、カウンセラーや心の専門家たちが、授業の中でストレスを発散する方法など予防的なことをやってほしいという話を各校長にお願いしたところである。

それから、母子家庭に限らないが、このところ、議会でも取り上げられているヤングケアラーについては、全国的な傾向で見ると平均的に1クラスに1人はいるというようなことも言われている。潜在化されている中で、子ども達をもう少し手厚く見て、積極的に見つけていくようにしないと、うまく対応できないので、ヤングケアラーの研修を進めるなど、学校現場でこれからやっていかなければならないと思っている。

それでは、次に議事の第7. その他に入るが、本日はその他の上程はない。

以上で、令和3年浦安市教育委員会第7回定例会を閉会する。

閉 会 (午後3時35分)